

2019年11月11日

2019年度 日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会講演会 開催報告

講演会担当主査 増田暁司

【日時】2019年11月8日(金) 13:10 ~ 18:30 (見学会参加の場合は10:50~)

【メインテーマ】「セラミックスが支える安全な水と衛生」

【主催】公益社団法人日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会

【後援】一般財団法人ファインセラミックスセンター

【協賛】日本化学会、応用物理学会、廃棄物資源循環学会、産業技術総合研究所東北センター  
Clayteam

【協力】日本セラミックス協会 東海支部、日本セラミックス協会 基礎科学部会、  
日本セラミックス協会 水資源の確保と保全に向けた浄化材料と技術に関する研究体

【場所】ファインセラミックスセンター研修室

【テーマ主旨】国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)に関する取り組みが国連加盟国で進められています。日本でも環境意識が高い企業、団体、大学などでは積極的に活動を行っていますが、社会全体で見ればSDGsへの関心度は高いとは言えません。SDGsの一つに「安全な水とトイレを世界中に(SDG6)」という開発目標があります。日本では当たり前で安全な水が手に入り、衛生的なトイレを使用することができますが、海外ではこれらは決して当たり前ではありません。そのため今後、日本の技術、ノウハウが海外の発展途上国で活かされ、現地の人々の暮らしを豊かにしていくことが世界から望まれています。本講演会では、産学官の立場の異なる講師の方々から、SDG6に関わる取組みを解説いただきました。

【プログラム】

10:50~12:00 【JFCC 見学】(希望者のみ)

12:00~13:10 昼休み

13:10~13:15 ガイダンス

13:15~13:20 開会の辞 日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会長 井須紀文

13:20~14:10 <講演①>「夢ロードマップ~水ストレスへの資源・環境関連材料部会の貢献~」

(千葉科学大学 危機管理学部 准教授 手束聡子 様)

14:10~15:00 <講演②>「信大クリスタルが拓く『水をキレイにする化学』」

(信州大学 先鋭材料研究所 教授 手嶋勝弥 様)

15:00~15:15 休憩

15:15~16:05 <講演③>「途上国における光触媒飲料水浄化の可能性」

(産業技術総合研究所 環境管理研究部門 上級主任研究員 根岸信彰 様)

16:05～16:55 <講演④>「TOTOグループの歴史と衛生を支えてきたセラミック技術」

(TOTO 株式会社 経営企画本部 ESG 推進部 ESG 推進グループ グループリーダー 曾根崎修司 様)

17:00～18:30 意見交換会(JFCC 食堂)

【参加費(講演予稿集、消費税込み)】

日本セラミックス協会、協賛学協会会員	5,000 円
日本セラミックス協会シニア会員	2,500 円
非会員	8,000 円
学生	2,000 円
意見交換会	3,000 円

【定員】50名

【開催結果】

SDG6「安全な水とトイレを世界中に」に関するテーマとしたこともあり、非会員を含め、様々な業種の参加者が集まり、盛況な講演会となった。安全な水を作るという目標のために、異なる着眼点、手法によるアプローチをされている各先生方のお話を聞くことができ、参考になったという感想も聞かれた。意見交換会にも多数の参加者があり、講師の先生方との活発な意見交換をされていたのが印象的だった。講師の先生からは「今日来てよかった」とのお声もいただき、参加者だけでなく、講師の先生にとっても有意義な会となったと思われる。

昨年度までは討論会と併せて開催しており学生が多く参加していたが、講演会として独立して開催したこともあり、学生の参加がなく全体としても参加者が少なくなった。(参加人数:28名(講師4名含む))今後、講演会として多くの参加者を集めるためにどのようなテーマを設定するかは部会内で継続して検討していく必要である。



講演会の様子



部会長からの挨拶